

第48回全国高等学校柔道選手権大会熊本県大会兼第70回熊本県高等学校新人柔道大会実施要項

主催 熊本県柔道協会
共催 熊本県高等学校体育連盟
後援 熊本県教育委員会
主管 熊本県高等学校体育連盟柔道専門部

- 1 日程 令和8年1月17日(土) 男女個人試合
審判・監督会議 9時20分 開会式 10時00分
令和8年1月18日(日) 男女団体試合
審判・監督会議 9時20分 開始式 10時00分
〈計量〉 1月16日(金) 15時～16時 (個人戦・女子団体含む)
1月17日(土) 8時40分～9時10分 (個人戦・女子団体含む)
1月18日(日) 8時40分～9時10分 (女子団体)
※計量は個人及び女子団体を含め、上記日程のいずれか1回のみとする。
〈入場可能時間〉 高体連専門委員・大会役員・補助員 8時00分～
選手・監督及び保護者・応援観覧者 8時30分～

2 会場 八代市総合体育館 〒866-0841 八代市緑町11-1 TEL 0965-35-0150

3 競技規則

国際柔道連盟試合審判規定ならびに(公財)全国高体連柔道専門部申し合わせ事項による。

(1) 団体試合

- ア 試合時間は3分間とする。
イ 「優勢勝ち」の判定基準は「有効」または「僅差」(「指導」差2)以上とする。
ウ チームの内容が同等の場合は代表戦を行う。代表戦の方法は「4 競技方法」で定める。

(2) 個人試合

- ア 試合時間は3分間とする。
イ 「優勢勝ち」の判定基準は「有効」または「僅差」(「指導」差2)以上とする。
ウ 試合終了時に得点差がない場合、もしくは「指導」差が1以下の場合は、ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行う。延長戦は、「有効」以上の得点があった時点、または、「指導」の数に差が出た時点で試合終了となる。
*「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い勝敗を決する。延長戦で「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、再度ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、必ず勝敗を決する。

4 競技方法

(1) 団体試合

ア 男子の部

- ①参加チームによるトーナメント戦で行う。
②各チーム間の試合は、点取り試合とする。
③試合は各チーム5名で行い、試合ごとのオーダーの変更を認める。
④トーナメント戦の勝敗の決定は次による。
(ア) 勝ち数の多いチームを勝ちとする。
(イ) (ア)で同等の場合は、「一本」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。
(ウ) (イ)で同等の場合は、「技あり」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。
(エ) (ウ)で同等の場合は、「有効」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。
(オ) (エ)で同等の場合は、代表戦を行う。

代表戦は代表選手を任意に選出して行う。代表戦の優勢勝ちの判定基準は「有効」または「僅差」(「指導」差2)以上とし、試合終了時に得点差がない場合、もしくは「指導」差が1以下の場合は、ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行う。延長戦は「有効」以上の得点があった時点、または、「指導」の数に差が出た時点で試合終了となる。

*代表戦で「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、勝敗を決する。延長戦で「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、再度ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、必ず勝敗を決する。

イ 女子の部

- ①参加チームによるトーナメント戦で行う。
- ②各チーム間の試合は、点取り試合とする。
- ③試合は各チーム3名で行う。試合ごとのオーダー変更は行わない。
- ④トーナメント戦の勝敗の決定は次による。

(ア) 勝ち数の多いチームを勝ちとする。

(イ) (ア) で同等の場合は、「一本」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。

(ウ) (イ) で同等の場合は、「技あり」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。

(エ) (ウ) で同等の場合は、「有効」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。

(オ) (エ) で同等の場合は、代表戦を行う。

代表戦は引き分け対戦の中から抽選で選び、ゴールデンスコア方式の試合を時間無制限で行う。

代表戦は「有効」以上の得点があった時点、または、「指導」の数に差が出た時点で試合終了となる。なお、引き分け対戦がない場合は、両者「反則負け」などで勝敗がつかなかった対戦を代表戦とする。また、両チームが選手の負傷などで2名しかおらず、「引き分け」対戦がない場合などは、代表選手をすべての対戦の中から抽選で選出して、ゴールデンスコア方式の試合を時間無制限で行う。

*代表戦で「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、再度ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、必ず勝敗を決する。

(2) 個人試合 (男子・女子)

ア 男子の部 60kg級 66kg級 73kg級 81kg級 無差別級

イ 女子の部 48kg級 52kg級 57kg級 63kg級 無差別級

*試合はトーナメント戦とする。ただし、出場選手が3名の場合はリーグ戦を行う。

5 引率・監督

(1) 引率責任者は、団体の場合、校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は、校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された、「部活動指導員」も可とする。但し、熊本県高体連会長に事前に届け出ること。

(2) 監督は、校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）に必ず加入することを条件とする。

(3) 監督の役割：監督は、自身の選手が大会会場に入場してから退出するまでの間、選手の行動に責任を持たなければならない。

(4) 監督の行為・言動

ア 試合が止まっている間（「待て」から「始め」）のみ、選手に対し指示を与える事が出来る。

イ 次の行為を禁止する。

①試合が進行している最中に指示を出す事や試合中に立ち上がる事。

②対戦相手や自身の選手を侮辱する言動。

(5) 罰則規定

ア 1回目は審判員が合議の上、口頭による「警告」を与える。

イ 2回目は審判員が合議をし、大会委員長または審判長に報告の上、大会委員長または審判長の責任のもとに、その試合が終わるまで監督席から退場させる。

※次の試合（対戦校）からは、監督席に座ることは出来るが、その後も改善されない場合は、大会期間中を通して、監督席に着くことを認めない。

6 参加資格

(1) 選手は学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含)に在籍する生徒であり、熊本県高等学校体育連盟に加盟している生徒であること。

(2) 令和7年度、熊本県柔道協会を経て、(公財)全日本柔道連盟に登録を完了した者。

(3) 平成19年4月2日以降に生まれた者。(令和7年4月2日現在、18歳未満であり、第1・2学年に在籍)同一学年の出場は1回限りとする。

(4) チーム編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混合は認めない。

(5) 転校後6ヶ月未満の者は出場することができない。(外国人留学生もこれに準ずる。)ただし、一家転住等の理由によりやむをえない場合は、この限りではない。

(6) 外国人留学生については、卒業を目的として入学していること。(短期留学は認めない。)

(7) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる参加を認める。

(8) 「脳しんとう」に関する扱いは以下のとおりとする。

ア 大会1ヶ月以内に脳しんとうを受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。

イ 大会中、脳しんとうを受診した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。なお、至急、専門医（脳神経外科）の精査を受けること。

7 参加制限

(1) 団体試合

ア 男子の部

- ① 1校1チームとする。
- ② 監督1名、選手6名の7名とする。ただし選手は3名から5名でも良い。なお3名もしくは4名の場合は、後ろ詰め（先鋒・次鋒もしくは先鋒を空ける。）とする。
- ③ 外国人留学生のチーム人員は、1名以内とする。

イ 女子の部

- ① 1校1チームとする。
- ② 監督1名、選手3名・補欠2名の6名とする。ただし選手2名でも良い。また補欠は2名に満たなくても良い。
- ③ 試合当日、両チームとも2名での対戦となった場合は、配列をそのままの順序で後ろに詰める（先鋒をあける）。なお、2名同士の対戦後、勝ち上がった場合、次の試合の配列はエントリ通りの配列とする。
- ④ 体重区分は、次の通りとする。
先鋒：52kg以下、中堅：63kg以下、大将：無差別
（体重の軽いものは重い階級に出場できる。）なお、補欠は該当する階級に出場できる。
- ⑤ 計量に合格できない者は出場できない。（無差別も計量を行う）

ウ 選手変更について

- ① 参加申込後に変更が生じた場合は、令和8年1月17日（土）9時00分までに、所定の様式を大会本部（専門部）へ提出すること。＊選手変更の際は診断書等の提出を必要とする。
- ② 参加申込後の団体試合の選手変更は1名までとする。但し感染症その他天災による場合は適用しない。
- ③ 女子団体において、登録した選手を抹消する場合は、すでに申し込みをした補欠をその位置に補充し、新たに登録する選手は補欠に入れる。
- ④ 女子団体において、補欠に52kg以下の選手を登録していない状態で、先鋒(52kg以下)を抹消する場合は、及び補欠に63kg以下の選手を登録していない状態で、中堅(63kg以下)を抹消する場合は、新たに登録する選手を直接先鋒あるいは中堅に入れることができる。
- ⑤ 男子個人試合で負傷をし、団体試合の選手を兼ねていた場合の選手変更は下記のとおりとする。
（ア）変更できるのは「大会救護員」により団体試合に出場できないと判断された選手のみとする。
（イ）個人試合の表彰式までに大会本部に申し出ること。（申し出がないものは受け付けない。）
（ウ）大会本部が用意する「大会中の負傷による選手変更届」の記入欄に必要事項を記入し、大会救護員の所見・署名をもらうこと。
（エ）電話等で校長に出場の承諾を得た後、上記の書類を大会本部へ提出すること。
＊女子については、補欠が2名いることから選手変更を認めない。

(2) 個人試合

男子は各階級4名以内、女子は制限を設けない。

8 表彰

団体・個人とも、第3位まで表彰する。

なお、男女団体優勝チーム、個人各階級優勝者は、3月27日（金）・28日（土）日本武道館で行われる第48回全国高等学校柔道選手権大会に出場できる。

9 参加申込

(1) 申込方法

- ① 熊本県柔道協会ホームページより「大会申込関係様式ファイル」をダウンロードし作成する。
- ② 「大会申込関係様式」データを下記の申込先へ電子メールにて送る。
- ③ 「大会申込書」、「大会参加費振込確認書」を下記の申込先へ郵送または持参する。

(2) 申込先

- ① 「大会申込関係様式ファイル」データ
熊本県高体連柔道専門部 メールアドレス：koutairen@kumamotojudo.jp
＊Excel ファイルデータで送信すること。PDF・写真などは不可。
- ② 「大会参加申込書」（学校長職員押印）及び「大会参加費振込確認書」（振込書のコピーを貼付）
熊本県柔道協会 住所：〒862-0950 熊本市中央区水前寺5丁目23-2 熊本武道館内

(3) 申込締切 令和7年1月8日（木）必着

(4) 参加料

- ① 団体戦：1チーム6,000円（男女とも参加校は9,000円）
- ② 個人戦：1人につき1,000円

【振込先】	肥後銀行	県庁支店（159）	普通預金	1653583
		熊本県柔道協会大会参加費口	代表	米田輝彦
				※振り込み手数料金は各校で負担する。

- 10 組み合わせ 日時：令和8年1月9日（金）9時00分～
場所：熊本武道館会議室
※高体連柔道専門部で行う。（立会い参加可。）

11 その他

- (1) 柔道衣コントロールは2023年7月24日に全日本柔道連盟より通知された「全日本柔道連盟主催大会における柔道衣コントロールの運用について」の規定を適用する。
- (2) ゼッケンは柔道着背部には必ず所属及び姓が記されているゼッケンを着けること。また四辺及び対角線に縫い付けること。
- (3) 団体試合用オーダー用紙
 - ①各校で準備し、当日持参すること。
 - ②作成方法：熊本県柔道協会ホームページよりダウンロードした「大会申込関係様式」内の「オーダー作成シート」にデータを入力し印刷する。